



カウントダウン[®]

フロアブル

一発、カウントダウン。

新登場



雑草の無い水田へ

- 使いやすく、高性能な初・中期一発処理除草剤。
- 高葉齢ノビエを一発処理で枯らす“除草力”。
- 難防除多年生雑草、多年生イネ科雑草、SU抵抗性雑草にも高い効果。
- 田植同時・直播水稲・新規需要米にも使える高い安全性。

製品のより詳しい情報は
こちら！



ノビエ



コナギ



ホタルイ



アゼナ



クログワイ



オモダカ



コウキヤガラ



キシヨウスズメノヒエ

ノビエ、SU抵抗性雑草(コナギ、ホタルイ)、難防除多年生雑草(クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ)、多年生イネ科雑草(キシヨウスズメノヒエ、エゾノサヤヌカグサ)に有効です。



水稲用初・中期一発処理除草剤

カウントダウン® フロアブル

- 農林水産省登録：第24087号
- 有効成分：トリアファモン……0.95%
フェンキントリオン…5.7%
フェントラザミド……5.7%
- 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）



除草剤分類 **2**
除草剤分類 **27**
除草剤分類 **15**

特長

1	3成分で高い除草効果	3種混合で広い殺草スペクトラムを示します。
2	ノビエへの優れた除草効果	特に高葉齢のノビエに対する殺草力が強く、長期残効性を示します。
3	難防除多年生雑草への高い除草効果	クログワイ、オモダカ、コウキヤガラなどに高い除草効果を示します。
4	多年生イネ科雑草に対する高い除草効果	キシウスズメノヒエ、エゾノサヤナカグサに高い除草効果を示します。
5	SU抵抗性雑草に対する高い除草効果	SU抵抗性ホタルイ、一年生広葉雑草、ミズアオイなどに有効です。
6	田植同時散布可能	水稲に対して高い安全性を示します。
7	水口施用可能(移植水稲)	田植後の入水時に水口から流し込むだけで、労力・時間を節約できます。
8	無人航空機での処理可能	無人ヘリコプターやドローンによる処理ができます。
9	直播水稲への適用性	直播水稲のイネ1葉期からノビエ3.5葉期まで使用できます。
10	新規需要米(WCS、飼料米等)に対する高い安全性	4-HPPD阻害剤に感受性の品種に対しても安全性を示します。

適用雑草と使用方法

(2020年8月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生 および 多年生雑草	移植時	500ml	本剤 1回 トリアファモン 2回 フェンキントリオン 2回 フェントラザミド 1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布、水口施用 または 無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草 および マツパイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			原液湛水散布 または 無人航空機による滴下

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは4葉期まで、ミズガヤツリ、ウリカワは3葉期まで、ヘラオモダカは4葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、クログワイ、オモダカは発生前から発生始期まで、コウキヤガラは発生始期まで、エゾノサヤナカグサは3葉期まで、シズイは草丈3cmまで、キシウスズメノヒエは再生茎3葉期までが本剤の散布適期です。また、ミズアオイ、コナギは3葉期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布して下さい。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれないよう注意して下さい。
- 無人航空機で滴下する場合は、次の注意を守って下さい。
 - 1) 滴下は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
 - 2) 滴下に当っては散布装置のノズルを取り外して下さい。
 - 3) 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他の装置の十分な点検を行って下さい。
 - 4) 薬液の飛散によって適用作物以外の作物に影響を及ぼすおそれがあるので、周辺作物に薬液がかからないように風の影響などを十分考慮して滴下して下さい。
 - 5) 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
 - 6) 薬液滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。
 - 7) 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬液散布には使用しないで下さい。
- 本剤処理後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、処理後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行って下さい。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
 - 1) 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 2) 軟弱苗を移植した水田 3) 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用しないで下さい。
- 畜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



全農は登録商標 第4702318号

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://crops.cscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00
土・日・祝日を除く

(F-3269 20.08.15)